

2022年度（令和4年度）

学校関係者評価報告書

2022年6月

学校法人彰栄学園

彰栄保育福祉専門学校

2022年度 学校関係者評価報告書

学校法人彰栄学園 彰栄保育福祉専門学校は、2021年度の自己評価を基本とした学校関係者評価を実施いたしましたので、ここに報告します。

《本校の学校関係者評価について》

学校関係者評価は、学生・卒業生、関係業界・団体、教育業界、保護者・地域住民などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、「彰栄保育福祉専門学校 学校評価実施規程」に沿って学校が行った自己評価の結果について評価することを基本として行う評価です。

◆目的

本校の自己評価結果の客観性、透明性を高めるとともに、本校と密接に関係する学校関係者の理解促進や連携体制による学校運営の更なる改善、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上を図ることを目的とします。

◆自己評価・学校関係者評価の対象期間

2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）

◆学校関係者評価委員会の委員構成

氏名	所属	選任区分
山本 慎介	わかたけかなえ保育園 園長 / 東京男性保育者連絡会 事務局長	業界団体関係者
津村 利治	彰栄幼稚園 園長	企業関係者
母里 一夫	東京都石神井学園	企業関係者
前田 和代	東京家政大学 講師	教育関係者
鈴木 一伸	彰栄保育福祉専門学校 卒業生	卒業生

◆学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 2022年5月21日（会場 彰栄保育福祉専門学校）

【内容】

- ・2021年度自己評価に基づいた学校関係者評価（評価アンケートに基づく）
- ・学校関係者評価の確認、意見、改善点の取りまとめ など

◆学校関係者評価基準

- ①自己評価結果の内容は、適切か。
- ②自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は、適切か。
- ③学校の重点目標や評価項目等は、適切か

◆評価点の点数の区分

- 4点：適切（な自己評価、に実施） 3点：概ね適切（な自己評価、に実施）
2点：やや不適切（な自己評価、に実施） 1点：不適切（な自己評価、に実施）

◆評価項目の状況

評価項目 基準1～10までの各委員からの評価の平均値及び意見、改善点などのコメントは次の通り

【基準1】教育理念、目的、人材育成像

評価項目	評価の平均値
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3.8
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界などの人材ニーズに適合しているか	3.8
1-1-3 理念などの達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.8
1-1-4 社会のニーズなどを踏まえた将来構想を抱いているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・社会のニーズが多様化する中で養成校の矜持を保つ努力をされている。
- ・児童、障がい者関連の福祉施設でも人材が不足している。理念等、具体的に示されている。
- ・1-1-4 について、内容、重要性の伝え方は十分とは言えないと大項目総括に書かれているように、特に社会のニーズを踏まえた将来構想が具体的にわからない。教育理念に基づいた具体的な構想を示すことが大切だと思う。どのような保育者を育成するのか、理念の「愛と奉仕」とのつながりが見えにくいと思う。

【基準2】学校運営

評価項目	評価の平均値
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3.4
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.4
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.6
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3.6
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.6
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3.6
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・2-2-1 のウ欄の「特になし」表記はどうかと思う。「～即戦力となる人材養成に～」ということであれば、より良い方向を目指す必要のある部分。現状問題ないとしても、将来的に変化していく可能性を踏まえた内容を表記すべき。
- ・中長期計画の作成と教職員への明示が望まれる。
- ・2-3-1 について、少子化が進む現代において長期・中期経営計画は必須。次年度だけの計画ではできることは限られる。長期・中期計画を教職員が共有することで、教職員の意識も高まり学校の活性化に繋がる。

【基準3】教育活動

評価項目	評価の平均値
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.6
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.2
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.8
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.6
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3.4

評価項目	評価の平均値
3-9-4 授業評価を実施しているか	3.6
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
3-10-2 作品及び技術などの発表における成果を把握しているか	3.8
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3.8
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.6
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.6
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.2
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3.4

【意見・改善点など】

- ・ 3-12-2, 3-12-3 の部分、毎年入退職により教職員の入れ替わりがあると思うが、具体的にはどのような指導や研修がなされているのか。
- ・ 教職員の業務負担が年々増加している中で、職務分担や連携に取り組まれている。
- ・ シラバス、学生便覧に明確に記載されている。
- ・ 3-8-2, 3-9-1 について、シラバスの各項目の記載が授業ごとに様々となっている。その授業で学生は「何を得られるのか」、「どのような学びを得るのか」、「何ができるようになるのか」など各項目の記載が統一で明確になるよう求める。特に「到達目標」は学校のディプロマ・ポリシーとつながっていると思うので、関連付けると良いと思う。教育理念と授業が繋がることで教員が授業をする際の目的がより明確になり、学生への評価（成績）に反映できる。学校の説明責任にも繋がると思う。
- ・ 3-9-3 について、キャリア教育は実施しているようだが、データなど客観的に示されておらず、効果が見えにくい。それぞれの実践の目的とキャリア教育全体の見通しなども明確にする必要がある。
- ・ 3-9-4 について、具体的な実践方法の記載がなく、どのような方法での実施、どのように教員へフィードバック、さらには教員から学生へのフィードバックがされているのかわからない。授業評価は教員の資質向上だけでなく、学生と共に授業の質をあげていくうえで大変重要であるため、システムを整え、確実に実施してほしい。
- ・ 3-12-1 について、指導体制の具体がわかりにくい。
- ・ 3-12-2 について、課題にも記載があるように、教員研修や客観的評価などが必要と思われる。

【基準4】学修成果

評価項目	評価の平均値
4-13-1 就職率の向上が図られているか	3.6
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	3.6
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3

【意見・改善点など】

- ・4-15-1「2018年を最後に～」とあるが何故なのか。コロナ以外の理由があるのか、あるとすれば実施に向けた検討は進めているのか。
- ・就職後の定着率や継続性についてリサーチ・集計ができると、在学生の就職活動や学生募集の際の参考になると思う。
- ・卒業生の社会的評価は極めて高い。コロナ禍の影響で就職決定に至らない学生がいたものの対応に努めていたと感じる。また、表現研究所の活動の再実施に期待している。
- ・卒業生の社会的評価は、学生募集においても重要。把握を目指しデジタル化などの方法を工夫していく必要がある。

【基準5】学生支援

評価項目	評価の平均値
5-16-1 就職など進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.6
5-17-1 退学率の低減が図られているか	3.6
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3.8
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	3.8
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.8
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.8
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3.2
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.2
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	3.2

評価項目	評価の平均値
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2.4
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.2

【意見・改善点など】

- ・5-19-4について、再三の指摘となり恐縮だが、活動補助金のみでなく活動場所（体育館など）の提供に尽力し、学生と施設の仲立ちをしていってもらうことを希望する。
- ・退学の理由も多様化、複雑化しているため特効薬のような対策ではなく、小さな取り組みの積み重ねが望まれる。
- ・成績表の保護者への配布は、個人情報保護等の問題もあるように思われる。
- ・卒業生に対して研修会のようなものはあるようだが、体系化されていない。体系化が望まれる。
- ・5-16-1について、方針に示されているように、まずは学生、求人先共にデジタル化は不可欠。退学者について特に1年生が多いので、月別（人数・理由）などデータを詳細にすることにより、より明確な対応や授業の再構成繋がると思います。
- ・5-21-3について、近年、少しずつですが、保育現場もICT化が進んでいる。パワーポイントでの発表やパソコンでの課題提出など就職に繋がるような授業環境も重要。

【基準6】教育環境

評価項目	評価の平均値
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具などを整備しているか	3.4
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修などの実施体制を整備しているか	3.4
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.2
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.2

【意見・改善点など】

- ・6-23-1について、インターンシップ、海外研修についての具体的表記がない。
- ・6-24-1について、非常時のリーダーシップをとる人材育成とはどのようなものか。
- ・ICT化の波に対応できるよう設備・備品の転換が望まれる。

【基準7】学生の募集と受入

評価項目	評価の平均値
7-25-1 高等学校など接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.8
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	3.8
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善などに活用しているか	3.6
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.8
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料などについて、適正な取扱を行っているか	3.8

【意見・改善点など】

- ・指定校の制度が活用されていくよう期待される。
- ・学校案内は検討がなされ、分かりやすい内容へと改善がなされている。OC、入試説明会、学校見学会など工夫がなされ、入学者の減少への対策も成果を挙げたのではないか。
- ・学校ホームページについて工夫を要する。特に授業紹介などもう少しイメージできる写真などの挿入が必要。また、近年生徒のほとんどが動画に慣れ親しんでいるので、動画なども取り入れると良いと思う。

【基準8】財務

評価項目	評価の平均値
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	2.8
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.4
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.4
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3.6
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	3.8
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.8

【意見・改善点など】

- ・収入の確保について引き続き多面的な対策が望まれる。

【基準 9】 法令等の遵守

評価項目	評価の平均値
9-32-1 法令や専修学校設置基準などを遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.6
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.8
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.8
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	3.8
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.8
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	3.8
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.8

【基準 10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

評価項目	評価の平均値
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	3
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3

【意見・改善点など】

- ・今後、コロナが収束もしくは“with コロナ”が定着し、社会活動が復旧していった場合のアクセスが大事になってくるであろうと感じる。
- ・コロナ禍にあって中止、縮小しているところと確認されている。
- ・地域に向けた子育て講座などは行っているのでしょうか。
- ・現状ではいずれも難しいと思う。

以上

学校法人 彰栄学園

彰栄保育福祉専門学校

〒112-0001 東京都文京区白山 4-14-15

TEL 03-3941-2613 FAX 03-3946-4710

<https://www.shoei.ac.jp/>